



平成29年度

教育研究所だより

No.16



「人おこし」

平成29年10月18日発信

〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向150-1

Tel 0220-22-8029(相談専用22-8125) FAX 22-9114

HPアドレス <http://www.tome-avc.jp/rese/>

紅葉の季節になってきました。秋になると気温が下がり、木(落葉樹)は冬をむかえる準備として葉を落とそうとするそうです。その過程で葉の中にあるクロロフィル(葉緑体)がなくなりカロチノイド(黄)が目立つようになり(黄葉)、その後、アントシアニン(赤)が急増して紅葉になるということです。なぜアントシアニンが増えるのでしょうか？活性酸素を押さえるためとの説がありますが・・・。

第2回登米市立幼稚園等非常勤講師研修会



＜新田幼稚園の子どもたち＞

10月12日(木) 新田幼稚園を会場に第2回登米市立幼稚園等非常勤講師研修会が行われました。

はじめに、保育参観がありました。活動名「リックとあそぼう」では、園庭いっぱい様々な遊びのコースが設けられ、4歳児、5歳児全員の子どもたちは自分で選択しながら楽しく活動していました。ちなみに「リック」とは、花山青少年自然の家のリスの名前だそうです。

最近の子どもたちは運動不足だそうです。体を十分に動かす遊びを通して、友達との関わり方、社会的ルール、協力することや助け合うことなどを学んでいくのだと思います。

遊びのコースは「おやつをゲット(的当て)」「リックと木登り」「リックを守ろう(サッカー)」「けんけんぱ」「橋を渡ろう」「バランスチャレンジ」の6つです。どこも先生方の工夫の跡が見えました。特に「バランスチャレンジ」では手作りの砂時計が用意されていました。

新田幼稚園では、昨年度、花山青少年自然の家で体験学習を行い、今年度も、この研修会の翌日に花山青少年自然の家の運動プログラム「リックと遊ぼう！」に参加するということでした。



＜松ヶ根幸子 園長先生＞

保育参観の後は、新田幼稚園長の松ヶ根幸子先生から「子どもたちが輝く幼稚園に」と題してご講話をいただきました。経験豊富な園長先生のお話は非常に説得力があり、特に遊びを通しての幼児教育の大切さを話されていました。

＜遊びを通して得られるもの＞

- 好奇心・探求心 ○気づき・発想 ○自分らしさ
- 我慢 ○善悪の区別 ○思いやり
- 決まりを守る気持ち

＜遊びの充実のために＞

- 自己実現するように援助 ○幼児の心の理解
- 興味・感心にあった遊び ○環境構成

＜充実した幼児の姿とは＞

- 興味をもって取り組む姿 ○明るく行動する姿
- 努力する姿 ○根気強く繰り返し遊ぶ姿
- 助け合う姿 ○遊びを変化発展させる姿

＜参加者の感想から(抜粋)＞

- ◆砂時計を作ったり、子どもの興味を引く活動が多く見られるたりして、とても勉強になった。
- ◆外で遊ぶことで丈夫な体を作り、体験活動を通して自ら気づくことの大切さを改めて勉強することができた。
- ◆子どもの心を読み取る大切さについて深く考えさせられた。環境構成の大切さを改めて感じた研修であった。
- ◆幼児教育の大切さを改めて学ばせてもらった。外で体をたくさん使って運動し、遊びの中から、集団生活の中から学ぶことがたくさんあると思った。